

# カラフトモメンヅル

*Astragalus schelichovii*

マメ科



カラフトモメンヅル

## 名前の由来

樺太(サハリン)に生えるモメンヅルの意。モメンは木綿で根が繊維状に裂け木綿質であるから。ヅル(ツル)はツル植物であるから。漢字名：樺太木綿蔓、樺太木黄芪

## 特定種

国レッドリスト (2007) …絶滅危惧 I B 類 (EN)

北海道レッドデータ…希少種 (R)

## 形態的特徴

茎は高さ20～50cmで上向きの白色の伏毛が密にある。葉は奇数羽状複葉。小葉は楕円形～長楕円形で10対内外、上面は無毛で下面には密に伏毛がある。托葉は卵形で膜質、長さ5～7mm。花は淡黄色で総状に多数つく。がく筒には黒色の伏毛が密にある。豆果は楕円状の円筒形で長さ1.5～

2.0cm、表面に黒色の伏毛があり花柱が残る。種子は扁平で湾曲し幅1.2～1.5mm。

類似種と見分け方：モメンヅル。カラフトモメンヅルのがく筒には黒色の伏毛が密にある。

## 生育環境・分布

日当たりのよい砂地や砂礫地などに群生する。

**分布**：国外分布は、サハリン、中国（北部）、東シベリア。国内分布は、北海道および栃木県。

北海道内分布は、空知、上川、十勝、網走。

十勝地方では、日当たりのよい河原、中州などで見られる。



カラフトモメンヅルのがく筒（左）と豆果（右）

## 生活史

開花時期：6～7月中旬。開花までの年数：不明。

寿命：多年草。

## 他生物との関わり

花には虫が訪れる。

## 興味深い話

■栃木県の一部にも隔離分布している。氷期にサハリン・北海道から南下したものが、この地に遺存分布したものと考えられている。

■栃木県では絶滅危惧 I 類(Aランク)に指定されている。



カラフトモメンヅル。砂礫地に生える

## 生活サイクル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開花期			■									
結実期				■								

## 参考文献

「北海道植物誌」合田勇太郎 著、合田節子(協力)、中西出版 2004

「北海道の希少野生生物 北海道レッドデータブック(ウェブ版)」北海道 2003 <http://rdb.hokkaido-ies.go.jp/>

「レッドデータブックとちぎ(ウェブ版)」栃木県 2006

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/shizen/sonota/rdb/index.html>

「改訂増補 牧野新日本植物圖鑑」牧野富太郎 著 小野 他編集 北隆館 1989

魚類

底生動物

両生類  
爬虫類

トンボ

チョウ

樹木

(在来種) 草花

(外来種) 草花

哺乳類

(水辺) 鳥類

(草原) 鳥類  
ツル植物